

新たな森林環境管理体制を推進します。

スイスを参考として、森林の有する本来の機能である「生産・防災・生物多様性・レクリエーション」を一元的に管理する「奈良らしい新たな森林環境管理制度」の導入を目指します。

関連予算 H30:30百万円(H29:19百万円)

平成30年度の主な取組

- 新たな森林環境管理制度構築に向けた検討・準備及び林業事業者等への周知
 - ・リース林業教育センターへ総合アドバイスを委託
 - ・(仮称)森林環境管理条例制定に向けた検討 等
- 新たな森林環境管理体制構築に向けた検討・準備
 - ・リース林業教育センター短期講習へ県・市町村職員等を派遣
 - ・平成31(2019)年実施のリース林業教育センター実習生受入準備 等
- 新たな森林環境管理に必要な人材育成の仕組みについて検討・準備
 - ・(仮称)奈良県フォレスト・アカデミー開校に向けたカリキュラムの検討 等
- (新)中高大連携森林学習プロジェクト

【経済と環境が両立する森林】

(スイス・ベルン州ツオリコッフェン)



スイス・リース林業教育センター

スイス・リース林業教育センターから受け入れた実習生

奈良が有する観光資源や歴史・文化資源を活用し、**県内への誘客を促進し、観光産業を振興**します。

インバウンド観光戦略20年ビジョンの策定に取り組みます。

インバウンド需要は止まることを知らず増幅を続けており、日本の各観光地による争奪戦の様相を呈しています。そこで、本県では、県と有志市町村が共同で「(仮称)奈良インバウンド観光戦略20年ビジョン」の策定に取り組み、連携・協働して同ビジョンの実現推進を図ります。

関連予算 H30:9,453百万円(債務負担行為8,588百万円)(H29:5,531百万円)

平成30年度の主な取組

観光地としての奈良の魅力づくり(1)

○20年後に見込まれるリニア中央新幹線の「奈良市附近」駅設置を見据え、リニア中央新幹線のインバウンド観光需要などを積極的に取り込んだ地域振興の実現を目指したビジョンの検討を進めます。

- ①滞在型観光の充実「泊まる奈良」
- 宿泊施設の質と量の充実(Accommodation)
 - ・大宮通り・奈良公園周辺における宿泊施設充実のための環境整備(大宮通り新ホテル・交流拠点整備、吉城園周辺地区の整備、高畑町周辺地区の整備)
 - ・海外ホテル事業者等を対象とした誘致活動
 - ・(新)住宅宿泊事業法への対応
- 滞在環境の快適性の向上(Amenity)
 - ・(新)外国人観光客の安心・快適な県内移動・周遊と滞在を促進するため、市町村等による受入環境整備を促進
 - ・外国人観光客の県内周遊と滞在を促進するため、市町村等による地域ならではの先駆的で意欲的な取組を支援
 - ・(新)歴史等の知識を有し、語学能力に優れた奈良県内で活躍する地域通訳案内士を育成
 - ・(新)JR・近鉄奈良駅周辺の沿道景観づくり等
 - ・奈良県外国人観光客交流館「猿沢イン」の運営
 - ・多言語コールセンターの運営 (新)医療機関向け
- 食の魅力向上(Appetite)
 - ・NAFIC(なら食と農の魅力創造国際大学校)周辺の賑わいづくりを推進



JWマリオットホテル奈良



「猿沢イン」での文化交流体験イベントの様子

観光地としての奈良の魅力づくり(2)

②移動・周遊環境の充実「巡る奈良」 ○効率的な交通・道路体系の形成(Access)

- ・(新)外国人観光客が安心・快適に県内を移動・周遊できるよう、交通事業者等による受入環境整備を支援
- ・安全・安心で快適な移動ができるよう、観光地周辺において交差点改良や歩道整備等を実施
- ・リニア中央新幹線「奈良市附近」駅を中心とした交通体系の調査・検討



ユニバーサルデザインタクシー

③豊かな観光資源の活用「活かす奈良」 ○歴史・文化資源の保存・活用(Attraction)

- ・(仮称)奈良県国際芸術家村の施設等の整備推進
- ・2020年に日本書紀編纂1300年を迎える「記紀・万葉プロジェクト」の推進
- ・文化財の積極的な整備・活用を進める市町村に対し支援 等

○楽しい奈良の実現(Amusement)

- ・四季を通じた文化・スポーツイベントの開催



(仮称)奈良県国際芸術家村の整備イメージ

対外プロモーションの強化

- ・(新)「ジャポニスム2018」への出展
- ・奈良の仏像をパリ・ギメ東洋美術館等の海外著名美術館で展示
- ・海外市場開拓プロモーション
- ・(新)デジタルを活用した海外への情報発信

国際交流等の推進

- ・コンベンション施設の開設に向けたMICE誘致の強化
- ・東アジア地方政府会合の開催
- ・ACCU・橿原考古学研究所等と連携し、文化財保護に関する国際交流を推進

観光振興の土台づくり

- ・(新)県立大学における観光産業を担う専門人材の育成 等
- ・(新)おもてなし環境の充実に向けた外国人観光客動向調査

「ジャポニスム2018」においてプロモーションを展開します。

フランス・パリで平成30年7月から8か月にわたり実施される大規模な日本文化紹介行事「ジャポニスム2018」に参画し、比類なき歴史文化資源を有する「日本のはじまりの地 奈良」の奥深い魅力を発信します。

平成30年度の主な取組

関連予算 H30:129百万円(H29:一百万円)

公式企画への出展

- 「『地方の魅力』週間－祭りと文化」に「春日若宮おん祭」を出展
 - ・「お渡り式」「舞楽」「能楽」等を紹介
- 河瀬直美監督の新作映画上映等と連携した奈良の魅力紹介
 - ・新作映画のロケ地である吉野地域の紹介
 - ・PR映像の上映、奈良の特産品の展示 等



春日若宮おん祭
(左:お渡り式、右:舞楽)

プロモーションの展開

- 奈良の伝統文化と幅広い生活文化のプロモーション
 - ・奈良の海外仏像展示と連携し、社寺や仏像、伝統芸能など奈良の魅力ある文化のプロモーション
 - ・奈良県産品(食・酒・工芸品等)のプロモーション
- 観光誘客のためのプロモーション(企業版ふるさと納税の活用)
 - ・現地のメディア・旅行エージェント等を対象に、奈良の歴史文化資源をテーマに講演会を開催するなど、誘客プロモーションを展開
- インバウンド推進コンテンツの作成
 - ・「日本のはじまりの地」奈良をテーマとする映像・パンフレット等の作成

奈良の仏像を海外で展示します。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに先立ち、欧州の著名な美術館・博物館において奈良の国宝級の仏像等を展示し、**日本文化の源流である奈良の歴史・文化に対する国際的認知度を一層高め**、海外からの観光客の増加を図ります。

平成30年度の主な取組

関連予算 H30:152百万円(H29:11百万円)

パリ・ギメ東洋美術館での仏像展示

- 展覧会名：仏像展示「古都奈良の祈り」
- 会 期：平成31(2019)年1月23日(水)～3月18日(月)
- 会 場：パリ・ギメ東洋美術館 再現図書室(Rotunda Library)
- 出陳作品：重要文化財 木造地藏菩薩立像
国宝 木造金剛力士立像(阿形、吽形)
※いずれも興福寺所蔵
- 主 催：奈良県、ギメ東洋美術館
- 共 催：(独法)国際交流基金
- 特別協力：興福寺、奈良国立博物館、東京国立博物館、日本経済新聞社



ギメ東洋美術館外観



再現図書室

大英博物館での仏像展示

- 展覧会名：「奈良 -信仰と再興(仮)」
“Nara, faith and renewal”
- 会 期：平成31(2019)年10月3日(木)～11月24日(日)
- 会 場：ロンドン・大英博物館
- 出陳作品：国宝・重要文化財等 20点程度(予定)
- 主 催：奈良県、大英博物館



大英博物館外観

大宮通り新ホテル・交流拠点の整備を進めます。

2020年春のまちびらきを目指して、県営プール等跡地において、**国際ブランドホテル「JW Marriottホテル」の誘致、NHK新奈良放送会館の移転**とあわせ、奈良での滞在型観光・人々の交流を促進する**新たな拠点「大宮通り新ホテル・交流拠点」の整備**を進めます。

平成30年度の主な取組

関連予算 H30:5,024百万円〔債務負担行為46百万円〕
(H29:2,240百万円)

- コンベンション施設の整備
- 埋蔵文化財発掘調査(出土物整理、報告書作成) 等

2020年春まちびらき



交流拠点施設



JW Marriottホテル奈良



NHK新奈良放送会館

※図は全てイメージです

奈良公園及びその周辺の魅力向上を図ります。

名勝指定当時の歴史や文化の風情を偲ばせ、その価値をさらに高めるとともに、**奈良公園をゆったりと巡れる**よう、吉城園周辺地区、高畑町裁判所跡地の整備を進め、2020年春のまちびらきを目指します。

平成30年度の主な取組

関連予算 H30:261百万円【債務負担行為453百万円】
(H29:377百万円)

吉城園周辺地区の整備

○整備コンセプト

・江戸末期から昭和初期の『和を基調とした風情の中に洋を感じる近代建築物』と庭が織り成す空間のあり方と、往時を偲ばせる邸宅の雰囲気や醸し出す空間美を保全しながら、ゆったりとくつろぐことができ、また宿泊することができる空間をつくりあげる。

○平成30年度事業内容

・土堀修景整備等



吉城園周辺地区

高畑町裁判所跡地の整備

○整備コンセプト

・日本を代表する茶道家・小説家・芸術家等が茶の湯とともに交流が育んだ別荘地として、当該地が有する学術的・芸術的価値の維持・向上を図る。

○平成30年度事業内容

・庭園・築地塀・茶室等の整備



高畑町裁判所跡地

※図は全てイメージです

2020年春まちびらき

平成30年度末に、(仮称)登大路バスターミナルが開業します。

奈良公園周辺における周遊環境を高め、奈良公園をはじめ奈良の魅力ある**歴史・文化を情報発信し、アメニティを向上**させるために、(仮称)登大路バスターミナルの整備を進め、平成31(2019)年春の完成を目指します。

平成31(2019)年春完成予定

関連予算 H30:2,402百万円(H29:1,306百万円)



(仮称)登大路バスターミナル



レクチャーホール



展示施設

※図は全てイメージです

【施設概要】

- バスターミナル(乗降場、駐機場、交通コントロール施設)
- ガイダンス施設(歴史展示、レクチャーホール(約300席))
- おもてなし施設(飲食・物販店舗、展望の良い休憩スペース、トイレ等)

旧奈良監獄活用を支援します。

国が行う旧奈良監獄保存活用事業に併せて、周辺整備に取り組むため、平成29年12月に**法務省・奈良県・奈良市は包括協定**を締結しました。今後、奈良県は包括協定に基づき、旧奈良監獄周辺地域の活性化に資する取組を支援します。

平成30年度の主な取組

- 旧奈良監獄活用への支援
 - ・包括協定に基づくまちづくりの検討

関連予算 H30:5百万円(H29:一百万円)



整備後のイメージ(法務省より提供)



ホテルの内装イメージ(法務省より提供)

平城宮跡周辺の魅力向上を図ります。

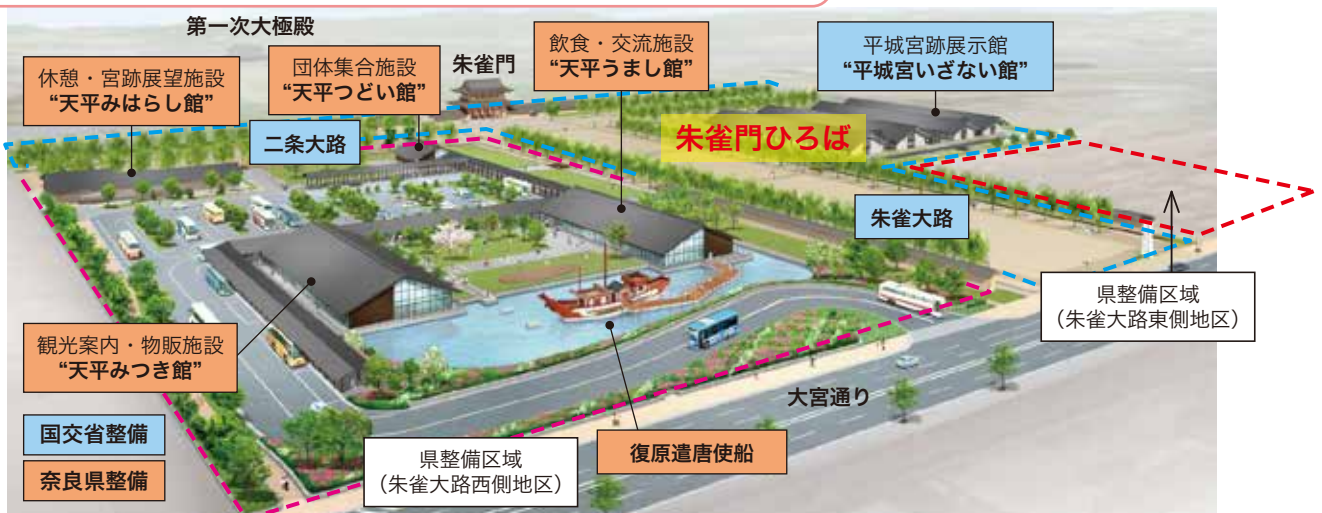
平城宮跡歴史公園の玄関口に、**交通ターミナル、飲食、観光案内、物販等の機能**を有する観光交流拠点施設「**朱雀門ひろば**」が平成30年3月24日に開園します。引き続き、**朱雀大路東側地区**の整備を推進します。

平成30年度の主な取組

- 平城宮跡の利活用推進
 - ・朱雀大路東側地区整備に向けた用地測量、補償調査
- 平城宮跡歴史公園朱雀大路西側地区の運営(指定管理)
- 平城宮跡内でのイベント展開
 - ・平城京天平祭・春(5月)、天平たなばた祭り(8月)、みつきうまし祭り(10月)等の開催

関連予算 H30:470百万円(H29:1,285百万円)

平成30年3月24日開園



平城宮跡歴史公園観光交流拠点施設「朱雀門ひろば」

積水化学工業(株)跡地活用を検討します。

移転が予定されている積水化学工業(株)奈良事業所(奈良市三条大路地内)の工場敷地は、特別史跡「平城宮跡」や国営平城宮跡歴史公園に隣接し、観光・交流資源としてのポテンシャルが極めて大きい場所であることから、その跡地活用について、**積水化学工業(株)・奈良市との協働**により、この地にふさわしい活用方策を検討します。

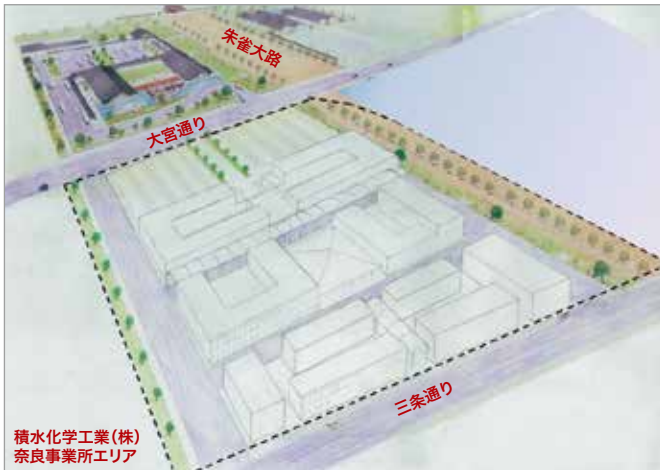
平成30年度の主な取組

- 平城宮跡歴史公園南側整備構想検討

関連予算 H30:5百万円(H29:一百万円)

【平城宮跡歴史公園周辺整備のイメージ】

【位置図】



(仮称)中町「道の駅」及びその周辺の整備を進めます。

県北部地域の拠点を目指し、「公共交通の結節機能」「地域観光のゲートウェイ機能」「地元農産物の直売所などの地域振興」を備えた「道の駅」の整備を進めます。

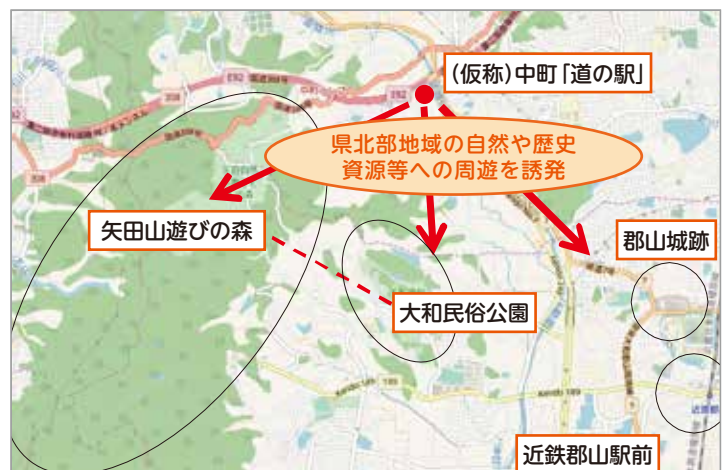
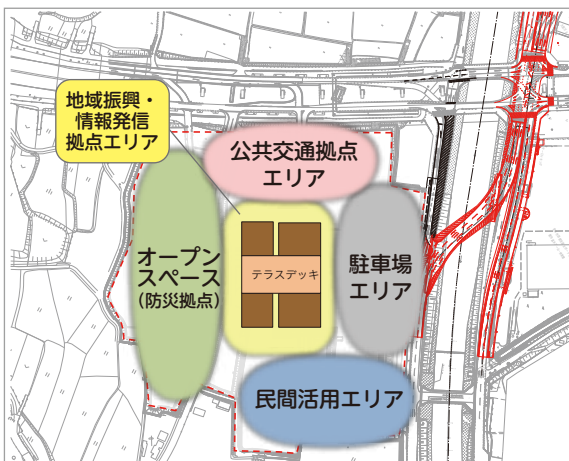
平成30年度の主な取組

- (仮称)中町「道の駅」の整備
・基本設計、実施設計、造成設計 等

関連予算 H30:88百万円(債務負担行為60百万円)
(H29:33百万円)

【(仮称)中町「道の駅」レイアウト(案)】

【(仮称)中町「道の駅」周辺構想】



四季を通じた魅力あふれるイベントを展開します。

四季を通じて県内外から多くの人々に訪れていただけるよう、奈良の奥深い魅力をブランディングし、**ゆっくりじっくりと楽しめるイベント**を展開します。

平成30年度の主な取組

関連予算 H30:615百万円〔債務負担行為11百万円〕
(H29:701百万円)

宿泊観光客の増加に向けた冬期イベント

- 奈良大立山まつりの開催
(平成31(2019)年1月下旬・3日間(予定))



ムジークフェストなら2018

- ムジークフェストなら2018の開催(平成30年5月7日～6月3日・28日間)



ぐれーとさまあーふえすたならまち遊歩

- ぐれーとさまあーふえすたならまち遊歩開催(平成30年8月17日～26日(予定))



やまと花ごよみ

- 馬見丘陵公園において花等と親しむイベントの開催(4月、6月、8月、10月、12月)



平城宮跡内イベント

- 平城京天平祭などの開催(5月、8月、10月)



マラソンイベント

- 奈良マラソンの開催(平成30年12月(予定))等



奈良県大芸術祭・奈良県障害者大芸術祭

- 「国文祭・障文祭なら2017」のレガシーを受け継ぎ、「奈良県大芸術祭」と「奈良県障害者大芸術祭」を一体開催(平成30年9月1日～11月30日)



(仮称)奈良県国際芸術家村を核とした文化芸術の振興を図ります。

(仮称)奈良県国際芸術家村を核とした文化芸術の振興により、**県民生活に文化芸術が溶け込み、守り育むことへの理解を広げるとともに、次の文化芸術の担い手の育成**を図ります。

平成30年度の主な取組

関連予算 H30:794百万円〔債務負担行為8,078百万円〕
(H29:679百万円(H28年度2月補正を含む))

- ソフト・ハード両面の取組の推進
 - ・文化芸術活動の具体化検討(体験・学習プログラムの検討)
 - ・指定管理事業者公募条件検討
 - ・造成工事、建築工事
- 公開・展示する文化資源等の収集・作成
- (新)文化財修復人材の養成
- 芸術家村を核とした山の辺の道周辺の賑わいづくり
- 民間ホテル事業者の誘致



文化財修復・展示棟
文化財修復作業の公開・解説



農村交流施設
直売所・農家レストラン



複合棟体験学習



複合棟交流ラウンジ
※図は全てイメージです

国民文化祭／全国障害者芸術・文化祭のレガシーを継承・発展させます。

全国で初めて一体開催した「第32回国民文化祭・なら2017」「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」のレガシーを受け継ぎ、「奈良県大芸術祭」と「奈良県障害者大芸術祭」を一体開催することとし、平成30年9月から11月までの3か月間、文化の力で奈良を元気にします。

平成30年度の主な取組

- 障害のある人とない人の交流の促進
- 障害の有無や年齢にかかわらず誰でも楽しめるイベントを展開
- 地域・社寺等と連携した奈良の芸術文化を発信

関連予算 H30:78百万円(H29:69百万円)



奈良県大芸術祭(奈良県庁前広場)



全国障害者芸術・文化祭なら大会(橿原文化会館)

県土マネジメントを推進し、住みよいまちづくりをします。

効率的・効果的な基盤整備を進めます。(1)

地域経済の発展に寄与するインフラ整備や防災・減災・老朽化対策など、効率的・効果的な基盤整備を進めます。

平成30年度の主な取組

安全・安心のまちづくり

- ・京奈和自動車道(大和御所道路、大和北道路)
- ・(国)168号(王寺道路・香芝王寺道路、阪本工区、十津川道路、風屋川津・宇宮原工区、長殿道路)
- ・(国)169号(伯母峯峠道路)
- ・(都)西九条佐保線
- ・(主)枚方大和郡山線(中町工区) 等の整備



(都)西九条佐保線の完成イメージ 枚方大和郡山線(中町工区)(奈良市)

奈良で宿泊する周遊型観光の推進

- ・広域的な自転車利用ネットワークの整備(京奈和自転車道、農村周遊自転車ルート等)

くらしやすいまちづくり

- ・市町村との協働によるまちづくりの着実な推進
- ・移動ニーズに応じた交通サービスの実現(公共交通ネットワークの確保、地域における生活交通の確保、バスロケーションシステムの整備等)
- ・県営住宅の建替及び環境改善の推進



バス交通の確保
奈良交通(株)八木新宮線

経済が県内で好循環する社会の構築(農林業)

- ・農地マネジメントの推進(ほ場整備、排水改良等)
- ・農村資源の持続的活用(農業水利施設の長寿命化)
- ・奈良型作業道や林道、架線集材施設等による木材生産拡大等



奈良型作業道と高性能林業機械を組み合わせた木材生産の現場